

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスふらっぶ有瀬校		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 6日		2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	2025年 1月 6日		2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 8日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	縄跳び、鉄棒、跳び箱を始めとした学校体育に沿った運動指導を通じて自己肯定感を高める取り組みと、ルールのあるチームスポーツを通じて、社会性、協調性、思いやりなどの自立に必要な各種能力の習得支援。	<ul style="list-style-type: none"> 学校体育に沿った種目については、年間の記録を残していき、子供たちの頑張りを支えています。 チームスポーツは、独自のルールを設定したり、ハンデをつける事により、障害の程度に関わらず、一緒に参加できるように配慮しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者がマンネリ化しないように定期的に新しい競技を導入していきます。 他事業所とも提携して合同のスポーツ大会なども検討します。
2	漢字能力検定を始めとした各種学習支援によって、学習の遅れによる困りごとのある利用者に対するサポートを行います。学習支援の時間中は、勉強だけではなく、日常生活の訓練や、就労に向けた作業の訓練等も行います。	<ul style="list-style-type: none"> 当事業所を漢字能力検定の会場として申請しており、公開会場では受験が難しい利用者でも安心して受験していただける環境を用意しています。 独自の学習プリントを作成しており、特定の単元に躓きのある利用者でも反復して学習できるようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活訓練の教材を必要に応じて順次、導入します。
3	作業所との提携による、保護者も参加可能な就労先見学会や、合同イベントを行うことにより、就労を目指す本人とその家族に対するサポートを行います。	<ul style="list-style-type: none"> 事業所見学会は中学生以上から対象としており、事業所の見学だけではなく、実際に作業を体験して頂く機会を設けています。 	<ul style="list-style-type: none"> 提携先作業所を増やしていき、利用者に対する情報発信を強化していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	就労先の情報が少なく、作業所以外にも一般就労を目指す利用者への情報発信を強化する必要があると思います。	<ul style="list-style-type: none"> 就労先の情報収集ノウハウがありません。 	<ul style="list-style-type: none"> 障害者雇用枠のある企業の情報収集。 ハローワークなどに掲載されている就労先の情報収集。 卒業生が入社した企業の人事部との連携。
2	児童発達支援との連携が弱く、未就学の当事者とその家族に対する情報発信が弱いと思います。	<ul style="list-style-type: none"> 別サービスとの関わりを持つ機会がありません。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援事業所との連携。 相談支援事業所との連携。
3	今後、ますます需要が高まるとされるPCやIT関係のカリキュラムが無いので、PC関係のプログラムを検討する必要があると思います。	<ul style="list-style-type: none"> PC指導の出来る職員が限定的な為、プログラムとして安定して提供する事が出来ません。 希望者が集中した際に提供する機材のコストが課題です。 	<ul style="list-style-type: none"> エクセル、ワード、パワーポイントの職員への教育。